

令和元年度 地域元気プログラム活用研修④ 実施報告

実施日：令和元（2019）年8月29日（木）

○演習「地域元気プログラムファシリテーター体験Ⅱ」

本研修第4回目は、地域元気プログラムの活用に向けて、受講者がファシリテーターとなって展開する演習を行いました。今回の講師は、前回に続き各教育事務所ふれあい学習課の社会教育主事です。

受講者全員がプログラム展開に携わるよう、全体進行やワークの進め方、時間配分、役割分担等を各グループで協議し、ファシリテーションの準備をしました。言葉かけや資料配布など、実際の動きを想定して練習を行うグループもありました。

プログラム展開は、3班ずつ2つの研修会場で、ファシリテーター班とプログラム体験班とに分かれて行いました。各班にファシリテーションの個性があり、それぞれのねらいに合わせた工夫のもとに、演習に取り組んでいました。受講者は、参加側と進行側の両方を体験することで、プログラムに対する理解を深め、ファシリテーションを改善していく視点や、地域で実践する際に注意すべき点等について、新たな気づきを得ていました。

ふりかえりでは、プログラム体験班からファシリテーター班へ送られた温かいメッセージにふれて、受講者は、地域でのプログラム展開に向け、さらにその意欲が増したようです。



↑写真は、左上から右に1～3班、左下から右に4～6班のファシリテーター体験の様子です。

【受講者の感想から】

- 限られた時間の中で、きちんと要点を押さえること、参加者の意見をうまく引き出すことの難しさを改めて感じました。
- ファシリテーターの立ち居振る舞い（声の調子、スピード、笑顔等）がプログラム全体の安心感を生むのだと感じました。
- グループでの共通理解、人間関係の大切さを学ぶことができました。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

